

2021



十三公民館だより

発行 十三公民館 ☎・FAX 91-1755

謹賀新年

あけましておめでとうございます。
皆様には新年をお健やかに迎えになられたことと存じます。

心よりお慶び申しあげます。

昨年は中国で新型コロナウイルスの感染者が発生し、ウィルスが瞬く間に全世界に拡散いたしました。世界の感染者数は77

0万4,469人、亡くなられた方は169万7,679人(12月22日米ジョンズ・ホプキンス大学の集計)また、そのウィルスはアメリカ、インド、ブラジル、ロシアそしてフランスなど世界の国々に広がり、尊い人命を奪い、人々の心に憎悪の念を生じさせ、世界経済に多大の悪影響を及ぼしました。未だその恐怖が冷めやらず、第二波、第三波と続いています。日本もその波をまともに受けてしまいました。経済に大混乱をおこし、医療も崩壊寸前、医療従事者の方々の懸命な努力が今も続けられています。このような時、我々は流言飛語に惑わされず、情報を正しく見極め、日々の生活を堅実に営むことが大切だと思います。

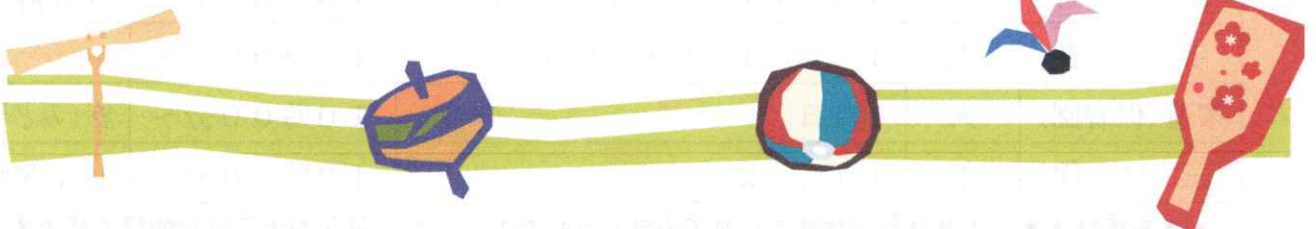
令和2年は新型コロナウイルスで明け、そして暮れてしまいました。「宙・そら」を見上げれば、野口さんの宇宙ステーション「きぼう」が飛んでいます。長い年月をかけ、遠い宇宙から貴重なデータと夢を運んでくれた小惑星探査機(はやぶさ2)もあります。これらは全て日本国民の夢とちからです。日本は科学技術力・経済力でもっともっと伸びる余地があると思います。それには地域に根差した教育・教育力が必須だと、常に思っています。新しい年を迎えました。新型コロナウイルスの蔓延によりあぶり出された「日本の良い点」「日本の悪い点」を熟慮し、皆で力を合わせて「明るい地域づくり」のために前に進んでいただきたいと思っています。

十三公民館は地域コミュニティ・地域の連帯感を深めていきたいと考え続けています。本年もよろしくお願いたします。



令和3年元旦

十三公民館長 中村治平



冬眠しないクマ「警戒」

環境省は本年4月から11月のクマによる人身被害は全国で151人で、比較可能な2006年度以降、最多となった19年度と同数となったとの集計結果を明らかにしました。10月には新潟県と秋田県で2人が死亡しています。今のところ富山県内の人身被害は6人で昨年の20件を下回るペースとなっています。同時に4月から10月の出没件数も公表しており、近年最も多かった16年度の同時期を上回り、17,746件と最多を更新しています。

例年は6月から7月以降に減少傾向を辿っていましたが、今年は8月3,291件、9月2,533件、9月4,050件で高止まりが続いており、同省の担当者は「冬でも気が抜けない」と危ぶんでいるそうです。

令和元年度の氷見市の目撃情報は3件でしたが、本年度は既に58件の目撃痕跡情報が寄せられています。クマは12月から翌年3月頃にかけて冬眠するとされていますが、近年の出没増についてNPO日本ツキノワグマ研究所の米田一彦所長は「暖冬で寒さに耐えられるようになったことも影響している」、



監視カメラに映っていた子熊(2018.6)

クマは嗅覚が鋭く2、3km先のものまで嗅ぎ分けることができ、放置された生ごみや柿などの果実を食べ栄養を蓄えられるようになったことも影響している」と分析しています。

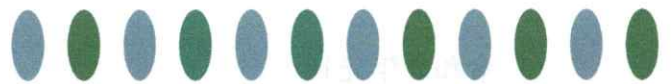
富山県自然保護課では、クマを引き寄せない、出遭わない対策を実施しようとして、柿などの果実を適切に収穫し、利用する予定のないものは早めに取り除く。未収穫の野菜や生ごみを適切に処分することなどを呼び掛けています。

富山県ホームページで詳しく紹介しています。



柿の木の枝を折って実を食べた跡の調査

1月の講座案内



講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	4日・11日・18日・25日	10時30分～	平井静子先生
手芸	火	12日・19日・26日	13時00分～	
茶道(保育園)	火	19日	10時00分～	於：みどり保育園
三味線	木	14日・28日	19時30分～	山下茂昭先生

お詫び 12月号公民館だよりでお知らせいたしました、第7回十三公民館福老杯争奪パークゴルフ大会個人の部女子第2位の野手成子さんは、正しくは野成子さんです。訂正してお詫びいたします。